

世界遺産登録15周年記念

(健脚・中級向き) 約19キロ

高野参詣道
PRイベント

※標高差 850m。一部に道幅が狭いなど、歩行に注意を要する箇所があります。少雨決行。当日 6:00 現在で、現地に気象警報が発表されている場合は中止します。

高野参詣道トレッキング

くるこみち 世界遺産 黒河道

くどやま森の童話館 ♪ 春の調べと桜

平成31年 4月 13日(土)

集合：JR・南海橋本駅前 8時10分 (受付7時30分から)

解散：高野町役場前 17時頃

募集人数：先着 80名 「事前申込制：裏面参照」

参加費：1000円 当日払い (記念品、高野七回マップ、資料代、傷害保険料等)

平成28年10月に世界遺産拡大(追加)登録された高野参詣道で高野七回のひとつ黒河道を歩き、橋本から峠越えを重ねて高野山に向かいます。昼休憩のくどやま森の童話館では、ピアノ・バイオリンコンサートと軽トラ市が開催され、例年、桜が見頃の時期です。

黒河道 (くるこみち)

黒河回に至る高野参詣道で、大和国(奈良県)からの参詣客が利用することから、大和回とも呼ばれた。橋本(和歌山県橋本市)からの近道とされます。文禄3年(1594)3月、豊臣秀吉が高野参詣の帰途、この道を用いたことが『紀伊続風土記』などの文献にあり、秀吉が高野下山の際、千手院口から銅嶽(雪池山)の北を通って、久保村・市平村を経て、丹生川を渡り、わらん谷から明星が鷲(たわ)を越え、紀の川を渡って橋本町へ出たなどの経路が記されています。当時、天下人であった秀吉が利用した道であり、主要な高野参詣道の一つでした。

第2回久保の桜コンサート (ピアノとバイオリン)

ピアノ：遠藤 史、バイオリン：寺本 翔による演奏があり、軽トラ市があわせて開催されます。(とんにゃく田楽、天然ハチミツ、焼き菓子、焼き魚等が割安の値段で購入できます。)

くどやま森の童話館 (旧久保小学校 平成25年4月13日撮影)

主催 高野七回再生保存会
共催 橋本観光ガイドの会・九度山町教育委員会
協力 応其寺・定福寺・黒河道保存会
(順不同) ふるさとの山に花をの会

問合せ：高野七回再生保存会

TEL: 080-1434-0985

ホームページ: <http://www.kouyananakuchi.jp>

